



# 相愛大学 人間発達学部 同窓会報

発行所  
相愛大学人間発達学部同窓会  
〒541-0053  
大阪市中央区本町4丁目1-23(本町学舎内)  
同窓会室直通TEL&FAX (06) 6261-2040  
学園代表 TEL (06) 6262-0621  
E-mail : doso@soai.ac.jp

## 素晴らしき 教育方針とご活躍



同窓会 会長  
**細井 敦子**  
(1981年卒・旧姓 宮木)

昨年度より人間発達学部同窓会会長を務めております細井敦子でございます。早いもので一年が過ぎ去ろうとしております。改めて相愛大学の素晴らしき教育方針とご活躍に感銘を受けております。また、長引いた新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から厚生労働省が「第5類感染症」に位置づけました。これにより本同窓会では、総会・ホームカミングデー

高評価でございました。子ども発達学では、住之江区役所との協働プロジェクトとして「あいあい相愛おはなしのへや」を開発しています。これは「保育・教育マネジメント」科目の1つの取り組みとして「おはなし隊」が活動しています。子どもも大人も一緒に、絵本などの「おはなしの世界」を楽しめる場作りを目指しています。

「相愛ヒートアップとつどいの里山」の自然学習環境を活用して、4年間を通じた体験的学習を積極的に展開しています。授業の中で、動植物を観察することや近隣の保育施設の子どもの一緒に田植えや芋ほりなどを行うなどの体験活動を継続的に行っています。自然に触れ合いながら、子どもへの理解や学びを深めています。

また、子どもたちと寄り添いながら、貴重な体験をすることにより教育の場として移り変わっていく進展ある方針を取っています。発達栄養学では学生6名が京阪百貨店2024おせち料理企画で「新春万福おせち」を開発しました。今年度のおせちは「世界を旅する」をテーマに各地の料理を研究し、縁起物の食材でおせち料理をアレンジしました。「色々な料理を味わってもらいたい家族団欒で楽しんでほしい」という思いが込められています。

レシビ創造プロジェクトでは新田ゼラチン株式会社様とコラボレーションをして2016年から「ゼラチン」「アガー」を使ったからだにやさしい健康的な食事を提案しています。ゼラチン、アガーの機能性を活かして高齢者の栄養、水分補給や嚥下障害対応食への展開、減塩や低エネルギー食、油を使わない泡ドレッシングの開発など幅広い分野で学生の柔軟なアイデアを取り入れたレシビ開発も行っています。実習授業でもきざみ・とろみ・ミキサー食の実践を取り入れて学ばれているとのこと、その知識と経験が大いに活かされると思います。新レシビは新田ゼラチンのホームページにて毎月公開されていますのでぜひご覧ください。

世界的な問題として認知されている地球温暖化を抑えるために様々な対策が取られています。例えば、米国ではハンバーガーの牛肉を大豆に変えて一部の地域で販売をされています。先ほどご紹介させて頂きました大豆ミートピザは牛ひき肉の代わりに大豆ミートを使ったピザで豆乳やココナッツミルクからつくられた植物性のチーズを使用しています。この活動は素晴らしい社会貢献でございます。このように環境に配慮された製品開発や高齢化社会において美味しく楽しく食べることが出来るアイデアを盛り込んだ商品開発は人が生きていく上で心に豊かさを与え体力が増して明日への英気を養うことができます。

本年度も皆様方と力を合わせて諸行事を円滑に進めて参る所存でございます。どうぞ、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、今後共に皆様方のますますのご活躍とご健勝を心より御祈念申し上げます。

## 人間発達学部両学科の 名称変更について



相愛大学人間発達学部 学部長  
**庄條 愛子**

人間発達学部の学部長を つとめております、庄條(しょうじょう)愛子です。同窓会の皆さまのご活躍、また、在校生への温かいご

名称を変更いたします。この場をお借りして、両学科の学科開設時から現在までの教育目標や人材育成の目標の変化、現状と教育目標に対応した名称への変更について、ご説明いたします。

「子ども発達学」は、人間の生涯における発達の手台となる「子どもの育ち」を支援できる人材育成を目的として、平成18年4月に開設しました。その後、乳幼児教育の一元化や、幼小接続などの社会的課題を踏まえ、保育士だけでなく、幼稚園教諭、小学校教諭といった教育者養成が教育課程の基軸となりました。現在、変化が急速で予測が困難(VUCA)な時代において、保育(養護及び教育)や教育のあり方が急速に変化しています。子ども発達学科の教育課程もそれに対応して、保育者・教育者としての専門性を強化し、現場対応力が育成できるよう変更してきました。現在は「子どもの育ち」である「発達」の理解にとどまらず、高度な専門性を持った保育者・教育者の養成を教育目標にしています。これらの経緯、子ども発達学科の現状、教育目標を学科名称のみで容易に理解できるように、学科名称を「子ども教育学科」に変更することになりました。

「発達栄養学」は、人間のさまざまな発達段階における「食育」を実践できる人材育成を目的として、平成18年4月に開設しました。その後、日本の少子高齢化に伴い中食や配食サービスなどの利用増加、サプリメントなどの保健機能食品の利用増加、食とSDGsの重要性など、食と健康を取り巻く状況は大きく変化しています。発達栄養学科の教育課程もこれらの課題に対応できる人材育成のために変更しており、「食育」のみならず「食と健康」を総合的に管理できる管理栄養士の養成を教育目標にしています。これらの経緯、発達栄養学科の現状、教育目標を学科名称のみで容易に理解できるように、学科名称を「管理栄養学科」に変更することになりました。

なお、両学科の名称は変更いたしますが、3つのポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマ・ポリシーと授与する学位「学士(子ども発達学)」、「学士(発達栄養学)」の変更はありません。両学科がこれまで取り組んできた教育・研究活動、様々な地域貢献・連携活動、産官学連携活動を通して「他者と自己のいずれの成長・発達も支援できる人材の育成」は、今後も見直し、発展させながら継続いたします。

本学が大学周辺地域をはじめとする地域の皆さまに、近所にある親しみのある大学、地域をこまめに支える大学として発展できるように、本学部の教育・研究を実践してまいります。今後先輩方から温かいご指導、ご支援をいただければ幸いです。お願い致します。

### 人間発達学部の学科名称が変更されます！

2024(令和6)年度入学生より

旧	子ども発達学科	発達栄養学科
↓		
新	子ども教育学科	管理栄養学科

なお、2023(令和5)年度以前に入学されている在学学生は、入学時点での学科名称が卒業まで適用されます。

人間発達学部同窓会としましても新たな気持ちで活動して参りたいと思います。

今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 住所・氏名等の変更について

住所・氏名等変更された場合は、相愛学園同窓会室までがさまたはFAXでお知らせ下さい。下記の日程で短大・人間発達学部同窓会の担当者が在室しています。

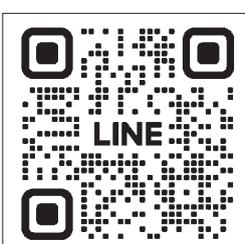
- 曜日 毎週火・木・金曜日
- 時間 10:00~15:00

連絡先：相愛学園同窓会室  
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-23  
TEL/FAX：06-6261-2040 (FAXは24時間受付)

※学年幹事や京都・東海・関東各支部長にもご連絡下さい。

個人情報保護の点からお問い合わせの際は会員特定をするために、会員番号または学籍番号、卒業年、学科名等詳しくお尋ねしますのでご了解下さい。

### 公式LINEはじめました！



人間発達学部同窓会の公式LINEを開設致しました。総会・懇親会の案内や商品開発、イベント情報などお知らせできればと思っております。

皆様、ぜひご登録をお願い致します。